

授業概要

福祉心理学は、福祉に関する問題を心理学的に研究する科学、あるいは福祉を必要とする人々に対して心理学的な技法を用いて介入、支援を行っていく学問です。福祉現場において生じる諸問題について扱い、社会福祉の対象となる人びとに対する支援を心理学的観点から概説します。本授業では福祉の担う社会的な役割と、人間の生涯に渡る福祉・心理的支援の可能性について理解し、今後求められる支援の方向性について考察することを目的とした講義を行います。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：授業の目的と概要について、福祉とは（テキスト第 1 章）
第 2 回	日本における福祉制度、心理職として福祉分野に関わる際の大事な視点（テキスト第 2,3 章）
第 3 回	児童福祉の理解と心理支援（テキスト第 4 章）
第 4 回	障害福祉の理解と心理支援（1）：発達障害（テキスト第 5 章①, 10 章）
第 5 回	障害福祉の理解と心理支援（2）：高次脳機能障害（テキスト第 5 章②, 11 章）
第 6 回	障害福祉の理解と心理支援（3）：精神障害（テキスト第 5 章③, 12 章）
第 7 回	高齢者福祉の理解と心理支援（テキスト第 6 章）
第 8 回	児童虐待（テキスト第 7 章）
第 9 回	非行（テキスト第 8 章）
第 10 回	ひきこもり（テキスト第 9 章）
第 11 回	認知症（1）：認知症の理解と支援（テキスト第 13 章）
第 12 回	認知症（2）：認知症の実際（テキスト第 13 章）
第 13 回	家族・介護職への支援（テキスト第 14 章）
第 14 回	障害者の就労支援（テキスト第 15 章）
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験：筆記試験

到達目標

- (1) 福祉現場において生じる問題およびその背景について説明できる。
- (2) 福祉現場における心理社会的課題および必要な支援方法について説明できる。
- (3) 児童福祉についての基本的知識と必要な支援について説明できる。
- (4) 高齢者の心理社会的課題および必要な支援について説明できる。

履修上の注意

- ・毎授業、コメントペーパーで感想や質問の提出をしていただきます。
- ・出席状況の基準を満たさない場合は定期試験の受験資格を失います。
- ・遅刻厳禁。講義開始から 30 分を超える遅刻は、欠席扱いとみなします。
- ・不要な私語の禁止。受講態度の悪い学生には、退出を求めます。
- ・授業の都合上、後半の内容が翌週に回ることがあります。

予習・復習

予習：「授業計画」に記載してあるテキストの該当箇所を事前に読み、理解を深めておくこと。各回の授業テーマやキーワードについて調べ、まとめておくこと。

事後学習：授業内容について振り返りを行い、教科書の該当箇所及び配布資料を復習すること。理解できなかった点、わからなかった点は調べておくこと。

評価方法

- (1) 授業態度及び参加状況（ワーク、コメント、ロールプレイなど）10%
- (2) 小テスト 3 回（10%×3=30%）
- (3) 定期試験 60%

テキスト

- 教科書名：福祉心理学
- 著者名：山中克夫・四ノ宮美恵子・宮本信也 編
- 出版社名：医歯薬出版株式会社
- 出版年 (ISBN)：2022 年 ISBN：9784263266526